

参考資料

令和6年度当初予算案における主要な施策

部 室 名
市 長 政 策 室

新規事業及び重要事業総括表

I 総額

【一般会計】

区分	令和6年度	令和5年度	伸び率
予算総額	144,158千円	154,784千円	△6.9%
一般会計構成比	0.4%	0.4%	—

II 主な新規事業及び重要施策

(単位 千円)

施策6-3 市民協働とシティプロモーションの推進

P 1	市長のまち探検事業(広聴広報費庶務事業)	【秘書課】	144
P 2	市長への意見・提言事業	【秘書課】	22
P 3	広報かがやき発行事業	【秘書課】	34,995
P 4	新規 市制施行70周年記念事業	【総合政策課】	3,890

施策6-4 効率的な行財政運営の推進

P 5	新規 SDGs推進事業	【総合政策課】	9,626
-----	-------------	---------	-------

市長のまち探検事業（広聴広報費庶務事業）

担当 秘書課

内線 2018

1 目的

市長が企業や事業所を直接訪問し、そこで働く方々との意見交換を通じて地域の課題や要望の把握に努め、市政の推進に活かしていくとともに、地元企業の優れた点を再認識し、市民に情報発信することで、地域への愛着や誇りの醸成につなげていく。

2 事業内容

令和6年度は、企業のほか市民活動団体等も含め、4回程度の訪問を予定。

訪問時に記念品として、「市長のまち探検プレート」を付けたひなちゃんのぬいぐるみを進呈。

3 予算額

144千円

○令和5年8月7日（月）実施 アサヒ紙工株式会社



○令和5年11月10日（金）実施 岩崎電気株式会社川里工場



市長への意見・提言事業

担当 秘書課
内線 2018

1 目的

市民とともに、まちづくりを推進していくため、市政についての建設的な意見・提言の機会を設け、市政に反映する。

2 事業内容

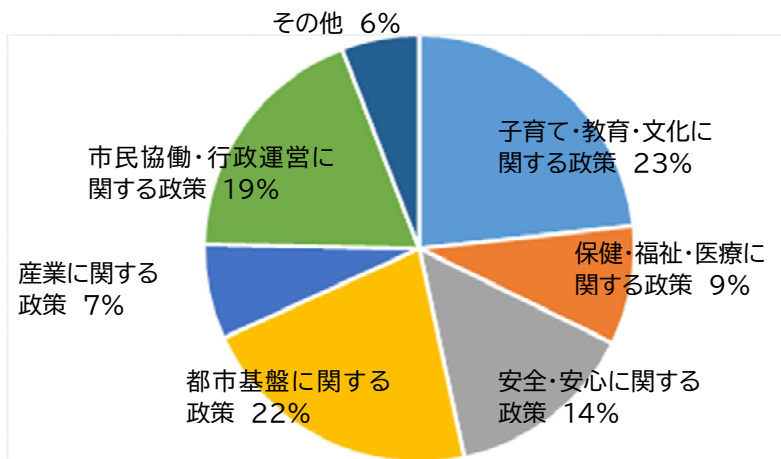
市民が、直接市長に意見・提言をする機会を設けるため、市内公共施設に専用用紙を設置するとともに、市長への意見・提言専用フォームを市ホームページ内に用意する。

これらの方法により、市民から送られてくるメールや手紙を秘書課で受付し、関連部署と調整して回答する。なお、受付した日から2週間を目途に市長又は担当部課長からメール等で回答を行うほか、内容に応じて、担当部署が電話等で直接対応する。

3 予算額

22千円

【令和4年度 市長への手紙・メールの集計結果】 ※総数 227 件（メール191件、手紙 36 件）



広報かがやき発行事業

担当 秘書課

内線 2018

1 目的

広報の発行を通じて、市民の皆さんへ行政情報等を分かりやすく正確に伝えることにより、市政への関心を高め、愛着の醸成や市民参加の促進を図る。

2 事業内容

令和6年度は、市制施行70周年に合わせて、「見やすく、分かりやすく、魅力が伝わる広報紙」をコンセプトに、特集記事の充実、子育て世代向け情報の集約、カラーページの増加など、広報紙のリニューアルを行う。(10月号からリニューアル予定)

【広報紙発行状況】

- (1) 発行部数 約 41,800 部
- (2) 発行回数 年間 12 回
- (3) 配布先 市内自治会 (約 230 自治会) のほか、公共施設など合計約 290 箇所へ配布

3 予算額

34,995千円



市制施行70周年記念事業

担当 総合政策課 企画担当
内線 2237

1 目的

令和6年度に市制施行70周年を迎えるにあたり、記念すべき節目の年を市民や市内事業者とともに祝い、先人たちが築きあげたその歴史と業績を振り返るとともに、市の魅力や資源を再確認し、地域への誇りと愛着の醸成を図る。

2 事業内容

(1) 記念式典の開催

- ・日 時：令和6年10月1日（火）午後1時30分（予定）
- ・会 場：クレアこうのす大ホール
- ・内 容：市政功績者表彰、市制施行70周年記念キャッチコピー表彰、ミニコンサートほか

(2) 記念事業の実施

市制施行70周年を記念した各事業を実施するほか、毎年度実施している既存事業に「市制施行70周年記念」の冠を付して行い、市制施行70周年の周知と機運の醸成を図る。

<主な記念事業（予定）>

- ・コミュニティバス「フラワー号」の夏休み期間中における小中学生の運賃無料
- ・ロート製薬㈱との包括連携協定に基づく学生向けのライフデザインセミナーの開催
- ・各公立保育所等の児童が作成した手形押し花アートのショッピングモールや市イベント会場等での展示
- ・埼玉西武ライオンズとの連携協定に基づく保育所訪問事業を希望する幼稚園等においても実施

(3) PRパートナーの募集

協賛事業として、市制施行70周年や本市の情報を市内外に発信していただける市内事業者・団体等（PRパートナー）を募集し、「市制施行70周年記念」の冠及びキャッチコピーの使用を承認するとともに、市ホームページで事業内容を紹介することで、市制施行70周年の周知と機運の醸成、地域の活性化を図る。

(4) プレイベント「NHK全国放送公開番組『新・BS日本のうた』公開収録」の実施

- ・日 時：令和6年3月21日（木）午後6時30分（予定）
- ・会 場：クレアこうのす大ホール

3 予算額 3,890千円 ※総合政策課所管事業分のみ

SDGs 推進事業

担当 総合政策課 企画担当
内線 2 2 3 6

1 目的

令和5年5月にSDGs未来都市に選定されたことを受けて8月に策定した「鴻巣市SDGs未来都市計画」の進捗管理を行うとともに、市民・事業者へ向けたSDGsの普及・啓発を推進する。また、市民・事業者・行政が連携し、SDGs視点（経済・社会・環境の好循環の創出）による地域課題の解決を図る。

2 事業内容

(1) SDGs 未来会議の開催

市内中学校8校から選出された生徒が持続可能な鴻巣市をテーマに、各中学校のSDGs宣言など、SDGsを切り口とした今後のまちづくりについて、市長にプレゼンテーションを実施する。

(2) こうのとりのSDGsフェスティバルの開催

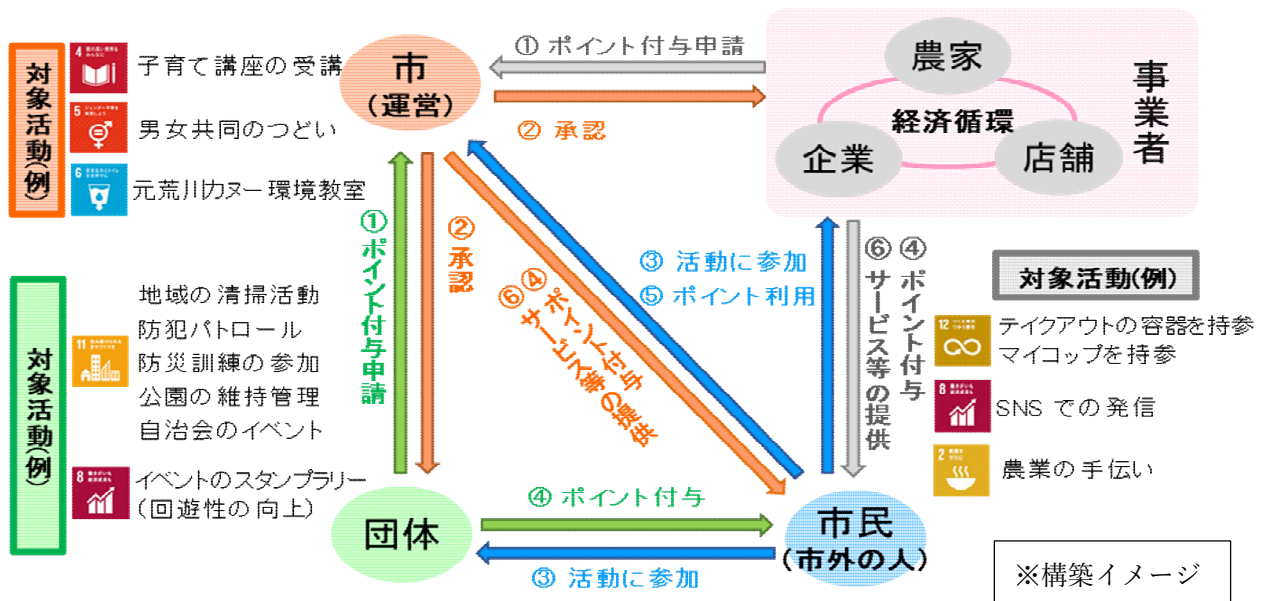
令和7年1月に、クレアこうのすにおいて、お笑い事務所との連携企画や関係部署・市内企業等による体験・展示ブースなど、子どもから大人まで幅広い年代を対象にSDGsを楽しく学べるイベントを開催する。

(3) こうのとりのSDGsパートナー制度の構築

市内事業者等を対象にSDGsパートナー宣言制度を構築し、市ホームページ等でSDGsへの取組を「見える化」するほか、パートナー交流会を開催し、市やパートナー間の連携を促進させるとともに、「埼玉県SDGsパートナー登録制度」につなげていく。

(4) SDGsポイント制度の構築

行政のみならず地域団体や市内事業者等によるSDGsに関連する活動を対象にポイントを付与し、市民だけでなく市外の方でも活動に参加してポイントを獲得できる仕組みとすることで、SDGsの自分ごと化を促進させるとともに、関係人口の創出、地域経済の活性化を図る。



3 予算額 9,626千円